

■一般目標 (GIO)

小集団指導を実施するために、各ライフステージの特徴を理解し、対象者の全身と口腔の健康を維持増進するための知識、技術および態度を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・小児期の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。
- ・小児期の口腔健康管理を説明できる。
- ・母子保健の意義を説明できる。
- ・健康教育の方法を説明できる。
- ・健康教育の計画を立案できる。
- ・グループ内でコミュニケーションをとることができる。
- ・グループ活動に積極的に参加することができる。

- 教科書：1 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版)
2 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 (医歯薬出版)
3 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 (医歯薬出版)

- 授業時間：月曜日 1) 9:00～10:50
2) 13:00～14:50
火曜日 3) 13:00～16:50
木曜日 4) 13:00～16:50
金曜日 5) 13:00～16:50

- オフィスアワー：國井 知余 (kunii.chiyo@nihon-u.ac.jp)
月曜日～金曜日 9:00～17:00

- 授業の方法：グループワークを中心とする。

- 準備学習：地域保健実習に必要な知識を修得し対応力を養う。
準備学習時間 衛生教育実施に向けて修正や練習を繰り返して行う。

- 成績評価方法：前期定期試験 (50%)、後期課題 (50%) として総合して評価する。

- 注意事項：グループによるチームワークが求められる。

- 実務経験：阿部仁子：現在、日本大学歯学部摂食機能療法学講座に在籍している。これまでの経験に基づき、学生がより一層の理解を深めることが出来る講義を提供したいと考えている。
國井知余：母子保健教育に携わってきた立場から、本教科で学ぶ内容が地域歯科保健活動の場でどのように活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 6月22日 1) 國井 知余	母子保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の背景を理解できる。
第3～6回 7月3日 5) 國井 知余	母子保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児期の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。
第7・8回 7月6日 2) 國井 知余	母子保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の口腔と口腔習癖を理解できる。
第9～12回 7月10日5) 阿部 仁子 國井 知余	母子保健 口腔機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔機能発達不全症について理解する。 ・ 発達期の摂食機能障害への対応方法を学ぶ。
第13・14回 7月13日 1) 國井 知余	対象別歯科保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に歯科衛生教育を実施するための指導計画を立案し教育媒体を作成できる。
第15～18回 7月17日 5) 國井 知余	対象別歯科保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に歯科衛生教育を実施するために指導方法を検討し教育媒体を作成できる。
第19～21回 7月21日(火) 1～3限 國井 知余	対象別歯科保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に歯科衛生教育を実施するために指導方法を検討し教育媒体を作成できる。
第22～25回 7月21日3) 7月23日4) 半数ずつ 國井 知余	中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員による評価を受け、学習活動内容および教育媒体を修正できる。
第26～28回 7月22日(水) 5～7限 國井 知余	対象別歯科保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に歯科衛生教育を実施するために、原稿案、媒体案、プリント案を修正できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第 29～31 回 7 月 23 日(木) 1～3 限 國井 知余	対象別歯科保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に歯科衛生教育を実施するために、原稿案、媒体案、プリント案を修正できる。
第 32～38 回 7 月 24 日(金) 1～3 限 5～8 限 國井 知余	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスで発表を行い評価できる。 ・ 児童への歯科衛生教育について課題を完成できる。